# TOTO

# RESTROOM ITEM 01 専用ライニング

#### 大便器用 UACN1系

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。 取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 安全上のご注意(安全のために必ずお守りください)

本商品に取り付ける各器具に同梱の施工説明書に記載の「安全上のご注意」も必ずご確認ください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。



この表示は、してはいけない「禁止」内容を伝えるものです。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物質的損害の発生が想定される』内容を示しています。



この表示は必ず実行していただく「強制」内容を伝えるものです。





取り付け部には所定の下地を設ける

固定強度不足のため、けがや壁の破損の原因になります。





屋外及び傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けない

取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡の原因になります。





壁への固定が完了するまで、十分注意し、各部の固定がゆるんでいないことを確認する 倒れやすく、使用中に落下してけがの原因になります。

注音



作業時は手袋、防じんマスクなど適切な防護具を使用 する

予期せずけがをするおそれがあります。

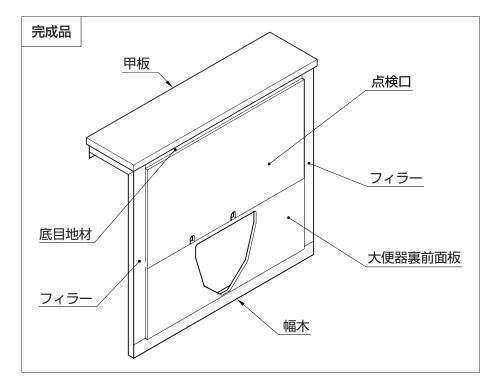


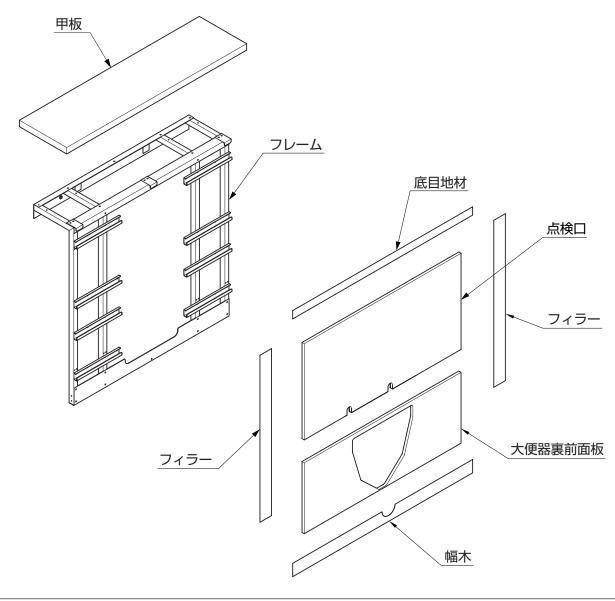
カウンターや各器具の上に乗ったり、重いものを乗せない 故障やけがの原因になります。

# 施工にあたって

- ●本商品及び、本商品に取り付ける器具の商品図・事前施工情報を必ず確認し、取付位置や取付下地など施工条件を 事前に確認してください。
  - 特に、床・壁の傾き、倒れがないことや、配管の立ち上げ位置を確認してください。
- ●不具合があった場合は責任者の方と調整し、不具合を解消後に取り付けてください。
- ●本商品に取り付ける各器具に同梱の施工説明書も参照してください。

# 商品の構成





# 全体寸法 壁仕上げ面 屋仕上げ面 壁仕上げ面 ①850~ 950 ②950~1050 壁仕上げ面 ①425~475 ②475~525 10~60 (フィラー) 10~60 (フィラー) 800 (大便器) (甲板) 255 (甲板) 12 (底目地材) 441 מ 850 380(大便器) 325 床仕上げ面 60 (幅木) 24 250 (前面板)

## 工具・部材

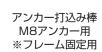
一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材をご用意ください。



振動ドリル



コンクリート用ドリル *φ* 12 ※フレーム固定用



雷動

電動ドリル 鉄工用 キリセット



ダクトポンプ



ソケットレンチ モンキーレンチ モーターレンチ



丸のこ カーバイト付き超鋼刃または ダイヤモンドカッター



電動ドライバー ビットサイズ:#2、#3 250mm以上のロングビット



レーザー墨出器



金やすり



配管・継手類







※商品図・配管図面を参照し、必要な 配管・継手類を準備ください。



金切りばさみ 切断能力…ステンレンス板O.8mm

# 取り付け下地の確認、固定材の準備

取付下地を確認し、固定部材を準備します。



取付下地に応じた固定部材を準備してください。

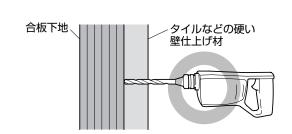
[壁]下 地	[壁] 固定部材		
コンクリート (仕上厚35mm以内)		グリップアンカーM8 (下穴φ12、深さ:仕上厚+40mm) (躯体に40mm打ち込むこと)	フレームに同梱
鋼製下地+耐水合板 (t12以上)		コーチねじ:φ6×50	フレームに同梱
ALC (仕上厚35mm以内)		ALCアンカーM8 (下穴φ14.5、深さ:仕上厚+65mm) (躯体に65mm打ち込むこと)	UTR805 (オプション)
コンクリートブロック		接着系アンカー	別途現場手配

[床] 下 地	[床] 固定部材		
コンクリート (仕上厚35mm以内)		グリップアンカーM8 (下穴φ12、深さ:仕上厚+40mm) (躯体に40mm打ち込むこと)	フレームに同梱

※上記以外の下地の場合、別途現場で固定部材を用意してください。



合板下地で、タイルや化粧ケイカル板など表面が硬い仕上げ材の場合は、ねじ固定時に仕上げ材が破損するのを防ぐため、仕上げ材だけに固定ねじの径よりも大きい下穴を仕上げ材にあけておくことをおすすめします。



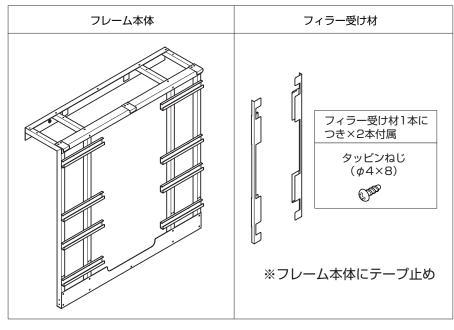
# 部品の確認

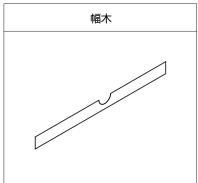
# フレーム

#### STEP 4

### STEP 7

## STEP 6





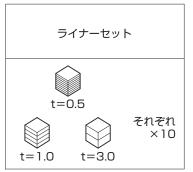
# フレーム部品箱

### **STEP 3,4**

フレーム壁固定部材セット						
グリップアンカー M8	六角ボルト M8×50	六角ボルト M8×80	ナットM8 ばね座金付き	ワッシャー	コーチねじ M6×50	大形角M6
×2	×5	×5	×5	×2	×2	×2

#### **STEP 2,4**

フレーム床固定部材セット				
グリップアンカー M8	六角ボルト M8×50	六角ボルト M8×80	ナットM8 ばね座金付き	ワッシャー
	Ominio .	<b>O</b> MINIO		
×2	×2	×2	×2	×2



#### STFP 4

OILI T			
幅木受け材	タッピンねじ φ4×8		
, o o o o o	<b>€</b> ×4		

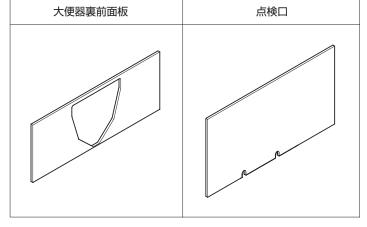
#### STEP 6,8,9



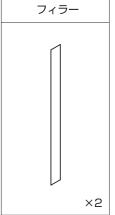


## 前面板

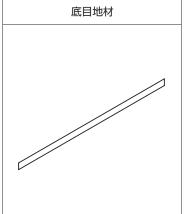
## STEP 10



## STEP 9

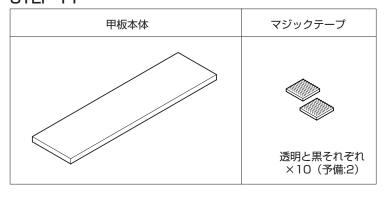


## STEP 8



## 甲板

## STEP 11

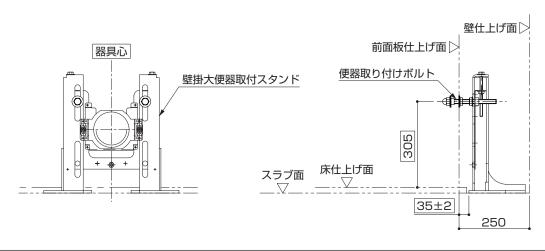


壁掛大便器取付スタンド・フラッシュバルブなどに同梱の説明書を参照して、下記工程まで 完了してください。

- ・壁掛大便器取付スタンド・フラッシュバルブの取り付け
- ・配管工事(立ち上げ〜引き回し)
- ※壁掛大便器取付スタンド同梱の施工説明書の「8.給排水管の引き回し、フラッシュバルブ 取り付けまで」

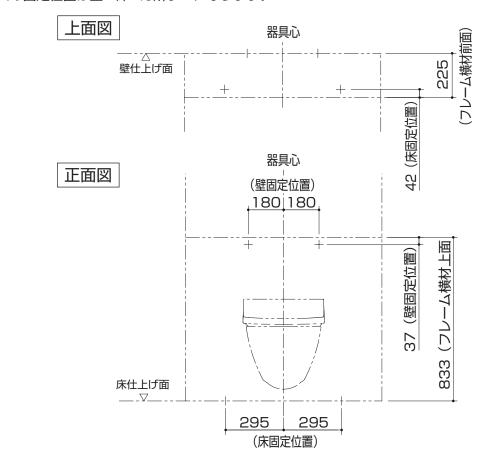
## 壁掛大便器取付スタンドの設置位置の確認

本商品の取り付け前に壁掛大便器取付スタンドの設置位置、便器取り付けボルトの位置の確認をしてください。壁掛大便器取付スタンドの位置が適切でないと、本商品や大便器が所定の位置に設置できません。



# STEP 1 墨出し

下図を参考にフレームの位置、固定位置の墨出しをします。 フレームの固定位置は壁・床2カ所ずつになります。



## STEP 2

# 床固定用アンカーの打ち込み

墨出し位置に床固定用アンカーを打ち込みます。

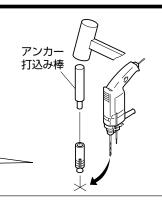


指定径のドリルで所定の深さの下穴をあけ、ダストポンプを 使用して、必ず穴の中の切粉を除去する 所定強度を発揮できません。

同梱のアンカー以外を 使用する場合は、その 注記にしたがい施工し てください。 グリップアンカーM8

下穴: φ 12、深さ:仕上げ厚+40mm

(躯体に40mm打ち込むこと)



アンカー打込み棒

## STEP 3

## フレーム壁固定の準備

下地によって、使用する固定部材が異なりますので、各部材の固定ねじに応じた固定部材を使用してください。 各固定部材については、P4の「取付下地の確認、固定部材の準備」を参照ください。

アンカー固定の場合

フレーム設置の前に墨出し位置にアンカーを施工します。



指定径のドリルで所定の深さの下穴をあけ、ダストポンプを 使用して、必ず穴の中の切粉を除去する

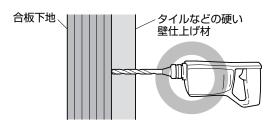
所定強度を発揮できません。

コーチねじ固定の場合

フレーム設置の前に下記準備を行います。



合板下地で、タイルや化粧ケイカル板など表面が硬い仕上げ材の場合は、ねじ固定時に仕上げ材が破損するのを防ぐため、仕上げ材だけに固定ねじの径よりも大きい下穴を仕上げ材にあけておくことをおすすめします。



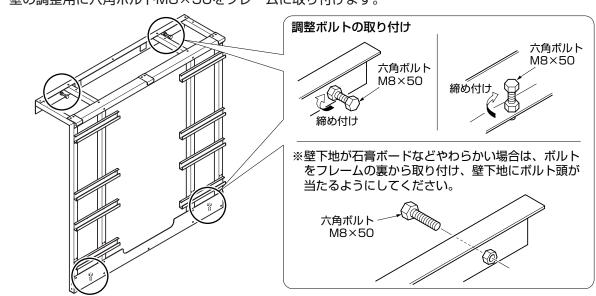
※合板下地の下穴は $\phi$ 3で開けます。

#### STEP 4

## フレームの設置

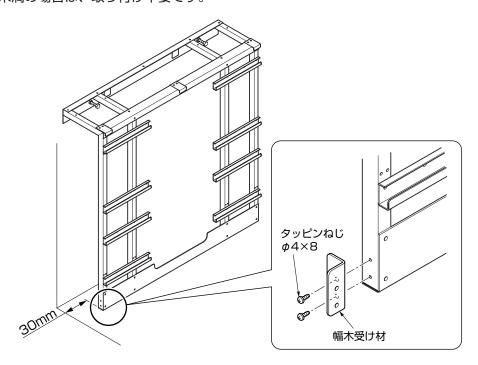
①調整ボルトの取り付け

床・壁の調整用に六角ボルトM8×50をフレームに取り付けます。



#### ②幅木受け材の取り付け

フレームを仮置きし、フレーム側面と壁とのすき間が30mm以上ある場合、幅木受け材をフレームの縦フレームにタッピンねじφ4×8で取り付けます。(2カ所)30mm未満の場合は、取り付け不要です。



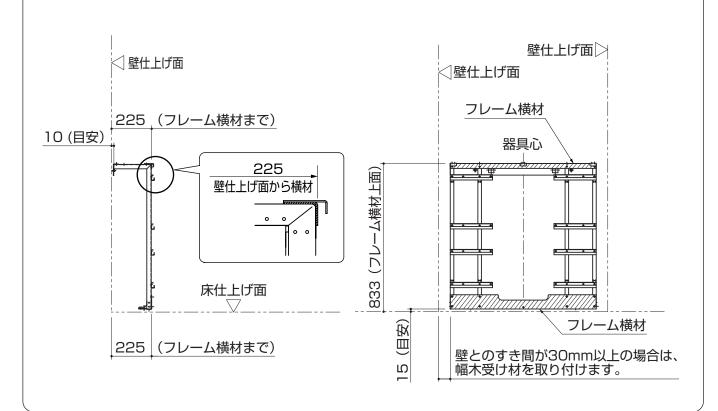
#### ③フレームの仮設置

- 1.墨出しした位置に合わせてフレームを仮置きします。
- 2.調整ボルトで器具心、フレームの高さ、水平などの位置調整をします。

(目安 床面とのすき間:15mm、壁面とのすき間:10mm)



フレームの水平・垂直がそろっていないと、前面板・甲板などの仕上げ材取り付け時に、すき間が不ぞろいになるなどの原因になります。 必ず水準器や下げ振りなどを使用し、建築壁に頼らず正しく位置出ししてください。



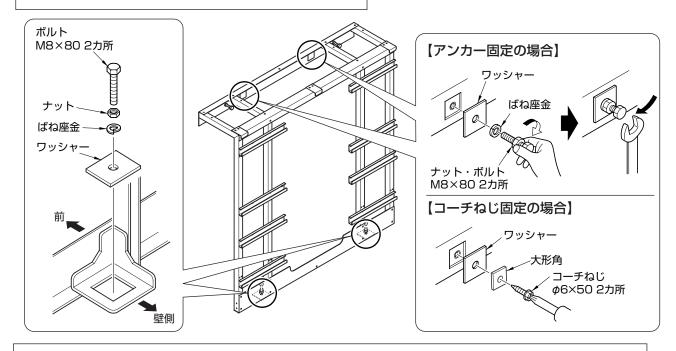
#### ④フレームの本固定

床(2カ所)、壁(2カ所)を固定します。



#### フレームを確実に固定する

フレームが倒れ、けがをするおそれがあります。





フレームの設置位置が正確か確認してください。

位置がずれている場合は、固定ボルト・固定ねじをゆるめて正しい位置に調整してください。

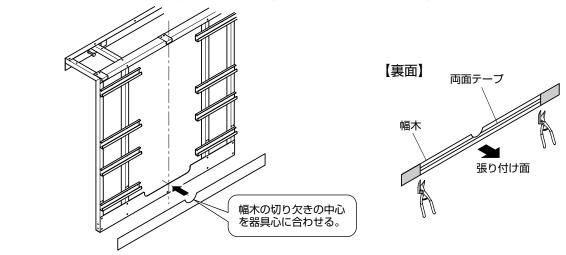
## STEP 5 コンセントの設置

壁掛フチなしトルネード大便器セットの商品図、壁掛大便器取付スタンドに同梱の施工説明書を参照して、 ライニング内にコンセントを設置してください。

# STEP 6 幅木の取り付け

幅木を間口に合わせて切断し、フレームに取り付けます。

- ①間口に合わせて幅木の両端を金切りばさみで切断します。(幅木の切り欠きの中心を器具心に合わせてください。)
- ②幅木の養生フィルムをはがします。
- ③両面テープを幅木の中央付近に1本、端から端まで張り付けます。
- ④フレームに幅木を張り付けます。
  - このとき、幅木と床面、幅木端部と壁面のすき間がないように注意して張り付けてください。



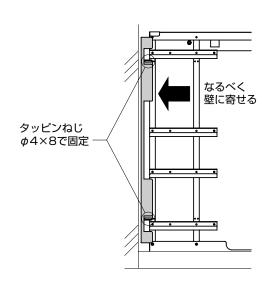
## STEP 7

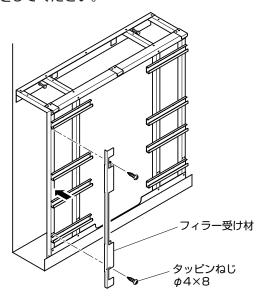
## フィラー受け材の取り付け

※フィラー受け材はフレームにテープ止めしてあります。

フレームの柱にフィラー受け材を取り付けます。

フレームとフィラー受け材の下穴を合わせて、タッピンねじ $\phi$ 4×8で上下1カ所ずつ固定します。壁とフィラー受け材のすき間が小さくなる下穴位置で固定してください。



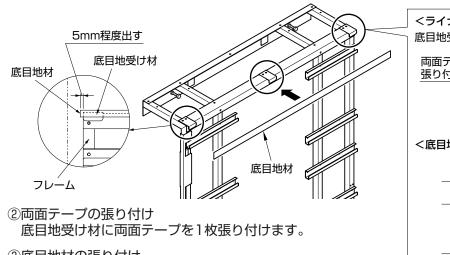




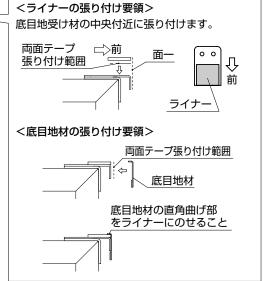
フィラー受け材は、壁とのすき間 を埋めるフィラーを張り付ける下 地になるので、なるべく壁に寄せ て取り付けてください。

# STEP 8 底目地材の張り付け

①ライナーの張り付け フレームの底目地受け材1個につきライナー(t=3mm)を1枚張り付けます。



③底目地材の張り付け フレーム端部の底目地受け材から5mm程度 底目地材がはみ出すように取り付けてください。





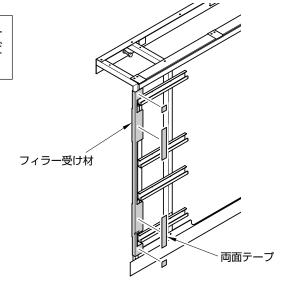
- ・両面テープを張る前に、底目地受け材のほこりを 取り除いてください。
- ・取り付け前に養生フィルムをはがしてください。
- ・底目地材の裏面のほこりを取り除いてください。

フレームにフィラー(間口調整材)を取り付けます。

①フィラー受け材に両面テープを張り付けます。



両面テープを張る前に、フィラー 受け材のほこりを取り除いてくだ さい。



②フィラーを下図のように調整して張り付けます。

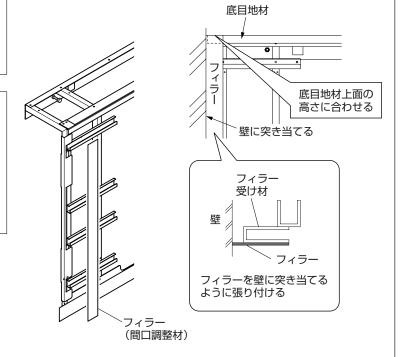


- 取り付け前に養生フィルムをはが してください。
- ・フィラーの裏面のほこりを取り除 いてください。



- ・両面テープは接着力が強く、張り 直しができませんので、十分注意 して張ってください。
- ・壁面とすき間が無い よう、表裏を間違え ないようにフィラー を張り付けてくだ さい。





## STEP 10 前面板の取り付け

フレームに前面板を取り付けます。

#### ①養生フィルムはがし

- ・大便器裏前面板の養生フィルムをはがします。
- ・点検口の養生フィルムを上下・側面のみをはがします。



点検口は上下・側面のみ

#### ②大便器裏前面板の取り付け

大便器裏前面板をフレームの横さんに引っかけて仮設置し、調整ねじで取り付け高さ・水平・垂直を調整 します。

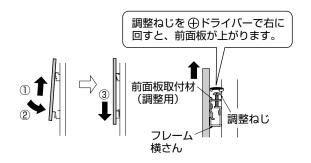
#### 【取り付け寸法の目安】

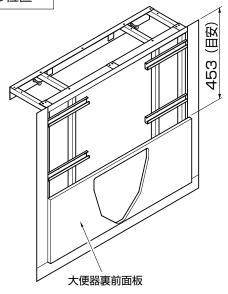
・横方向 :前面板の中心を器具心と合わせます。

・高さ方向:前面板の上端が底目地材上端より453mmの位置



前面板取付材が上下ともフレームに引っかかっていることを確認してください。

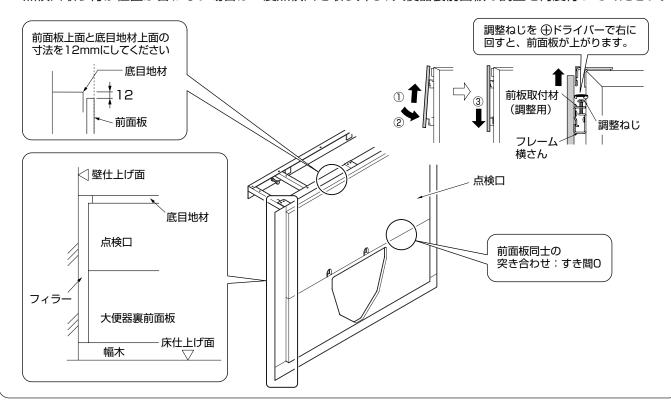




#### ③点検口の取り付け

点検口を大便器裏前面板と同様にフレームの横さんに引っかけて仮設置し、調整ねじで取り付け高さ・水平・垂直を調整します。

点検口取り付け位置が合わない場合は一度点検口を取り外し、大便器裏前面板の調整を再度行ってください。



## **STEP 1 1** 甲板の取り付け

甲板を間口に合わせて切断し、フレームに取り付けます。

#### ①甲板の切断

間口に合わせて甲板を切断します。

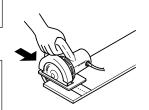
切断寸法は壁の倒れや開きなど、現場に応じて決めてください。 甲板と壁とのすき間は4mmになるよう切断してください。



軽く押し切れるスピード で切断してください。



切断木口は、必要に応じてディスクグラインダーで削ると美しく仕上げることができます。





マスキンクテープを張る。 (チッピングや工具台座による傷を防止します。)



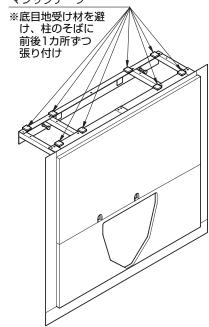
切り落とす最後の部分は欠けが 生じやすいので、切断終了直前 には切り落とす側の支持を行っ てください。

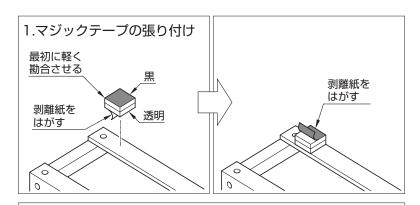
#### ②甲板の取り付け

1.フレーム上面にマジックテープを張り付けます。

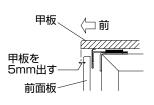
2.甲板を下図のように乗せてマジックテープを甲板に接着させます。

#### マジックテープ









甲板を上からそっと押し付け、上から軽くたたいて張り付け固定します。

- ・目安として、甲板と壁とのすき間は4mmになるよう甲板を取り付けてください。
- ・前後方向は前面板の前出を基準に甲板の前出が5mm出るように取り付けます。



- マジックテープの張付面は、 アルコールなどで油分、汚れなどを十分に落としてください。
- ・最初のマジックテープ同士 の勘合は強く押し込まず、 軽く勘合させてください。

#### 3.マジックテープが張りついているかの確認

甲板を一度取り外し、マジックテープ(黒)が甲板の裏面に全て張り付いているか確認してください。

甲板に張り付かずにフレーム側に残っている場合はマジックテープ(黒)を 外し、フレーム側のマジックテープ(透明)の寸法に合わせて、マジックテー プ(黒)を甲板に張り直してください。

※壁と甲板とのすき間をコーキングする場合、コーキングは別途手配となります。

## STEP 12 器具(別途手配品)の取り付け

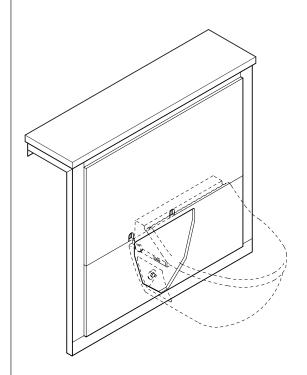
※器具の取り付けの際に、調整した前面板の位置をずらさないよう注意してください。

点検口を取り外して、器具の取り付けを行います。

壁掛大便器取付スタンドに同梱の施工説明書を参照して「10.便器取り付けボルトなどの調整・本固定」 以降の工程を行ってください。

## 取り付け完了後の確認

下記に加えて、各器具に同梱の施工説明書も参照ください。



- ●各部の設置状態を確認します。
- ①ライニング寸法の確認
  - ・間口寸法
  - ・奥行寸法
  - ・高さ寸法
  - ・ライニングの水平・垂直
- ②前面板の設置状態
  - ・器具裏前面板と点検口の位置はそろっているか。
  - ・点検口の開閉はできるか。
- ③幅木の設置状態
  - ・幅木は確実に張り付いているか。
- ④甲板の状態
  - ・甲板の位置
  - ・甲板は確実に取り付いているか。
- ●設置後、仕上げ材の養生フィルムをはがします。
- ●同梱している取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。 手渡しできない場合は、工事完了後目立つ所に置いて ください。